

プロフィール

活動地	鳥取県米子市
団体名	医療法人養和会メディカルフィットネスセンターCHAX
活動名称	皆生スポーツ広場
PRポイント	スポーツを楽しみ、共生社会の輪を広げよう！
連携している団体等	特別支援学校、専修学校・各種学校、スポーツ団体、社会福祉法人、病院・保健所、行政（教育委員会）、その他（鳥取県障がい者スポーツ指導者協会）

奨励者表彰

活動分野	スポーツ
主な対象	肢体不自由
団体の規模	職員 7名

活動の説明

①活動内容	<p>平成28年度からスタートした「皆生スポーツ広場」は、鳥取県立皆生養護学校（肢体不自由・病弱特別支援学校）の体育館で、毎月1回2時間、土曜日の午前に活動しています。鳥取県立皆生養護学校の在校生や卒業生を主な対象とし、参加費は無料となっています。安心・安全に活動できるよう、施設設備が整い、慣れ親しんだ体育館を使用しています。スポーツ活動の内容は、理学療法士によるストレッチ指導や感覚統合を取り入れたレクリエーションスポーツ、障害者スポーツを中心としたメニューとなっており、例えば、レクリエーションでは「だるまさんが転んだ」「鬼ごっこ」「リレー」「風船バレー大会」など、障害者スポーツでは車いすスラロームやボッチャなどを実施しています。メニューによっては歩行可能な方も車いすで参加していただき、皆が同じ目線でスポーツ活動を楽しめるよう工夫しています。特別行事として、全国障害者スポーツ大会陸上競技の練習会や大会参加、ボッチャを通じた韓国や日本代表選手との交流、特別支援学校の放課後ボッチャ練習等があります。</p>
②活動の経緯・体制	<p>特別支援学校の在校生や卒業生が地域でスポーツ活動に参加する機会は少なく、継続的なスポーツ活動が困難な状況にあること、卒業後は運動の機会が減り、体力の低下による仕事への影響が懸念されることから、障害の有無に関わらずスポーツを楽しみ、体力の向上や共生社会の実現を目指す「皆生スポーツ広場」が始まりました。理学療法士を中心に、医師、健康運動指導士、障害者スポーツ指導員等のスタッフと連携し、活動を進めています。</p>
③活動の効果等	<p>過去4年間の参加者は、延べ750名（障害者244名、一般268名、スタッフ238名）。個々に合った運動プログラムを提供することで、重度の障害のある方も安心してスポーツを楽しんでいます。皆生スポーツ広場をきっかけに鳥取県ボッチャ協会が設立され、県外大会参加のほか、公民館の人権学習に招かれるなど、地域で活躍中です。毎年10名程度が鳥取県障害者スポーツ大会に参加、中には全国障害者スポーツ大会に出場する選手もいます。</p>

活動の様子



レクリエーションスポーツの様子



ボッチャ交流会